

令和5年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名 : 富山大学
 代表学生 : 宮澤 正咲
 指導教員 : 高村 昭輝

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>カフェを通じた地域住民のSDH向上について</p>
<p>研究概要</p>	<p>砺波市梅檀野地区にある「せんだんのhill」を地域フィールドワークの拠点として、第2日曜日を「学生による医療カフェの日」と設定し、オリジナルメニューや健康相談を話題に地域住民との交流を図り、その効果として常連客へのアンケート調査の評価を実施する。</p>
<p>これまでの活動状況と今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>2023年の4月から9月にかけて毎月1回ずつ(8月を除く)砺波市梅檀野地区において医療系学生による医療カフェを営業した。各回の参加学生は平均6名程度、来客者は延べ30名程度であった。学生が毎月のメニューを考え、提供し、希望する参加者には和漢薬診療における脈診をしながら健康相談を行った。学生が提供するだけでなく、参加者に施設の庭に生えている草花について解説してもらい、レシピを教えてもらいジュースを作ってみるなど、学生が教えていただく形での双方向性の交流も積極的に行った。また、同地区でのイベントのお手伝いや、そこで提供されるおやつを作るなども行った。来月以降は同地区の地域活性委員会と共に敬老会企画として、高齢者向けのメニュー等を提供する予定で、その他、地元の伝統工芸で地域の方にお皿を焼いていただき、翌月に要望のあったカレーを提供するために使用する予定である。これらの活動により梅檀野地区の高齢者に社会参加を促進するきっかけにしたいと考えており、これらの医療系学生の交流の成果を分析したいと考えている。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	



1. 薬膳料理の創作



2. イベントの手伝い



3. 薬膳あんみつ